

CT 検査を受けられる方へ

様の検査は、	年	月	日()	
	時	分	予定です。	
予約時間の20分前までに、県立二葉の里病院①番受付にお越し下さい。				

* CT 検査とは

CT 検査とは X 線を使って体の断面を撮影する検査です。コンピュータで処理をすることにより色々な方向からの断面画像や立体画像を作成することができ、病気の早期発見や治療効果判定、事故や転倒での外傷・骨折の検査等幅広く利用されています。

造影剤という薬剤を使用しないで撮影する単純 CT 検査と、造影剤を静脈注射で体内に注入し撮影する造影 CT 検査があります。血管の状態や、臓器の血流情報など詳しく検査する場合は造影剤を使用して検査する場合があります。検査時間は5～15分程度です。

* 検査前の準備・当日のお食事やお薬について

- ・検査部位に金属類がある場合、取り外していただくか着替えていただく場合があります。
- ・泌尿器科疾患の患者様は、なるべく検査 2 時間前から排尿を控えて下さい。
- ・内服薬は飲んで下さい(ただし、造影検査の場合ビグアナイド系の糖尿病薬は原則、検査 2 日前から検査 2 日後までの休薬が必要です)。
- ・バリウム検査を受けた方で腹部、骨盤部の検査をする方は CT 検査まで 1 週間あけて下さい。
- ・リブレセンサーを使用中の方は検査前に外していただく必要があります。
- ・ICD (植え込み型除細動器)使用中の方は原則 ICD 本体部への撮影は行いません。
- ・検査手技・検査部位によって絶食等の前処置が必要となることがあります(下記参照)。

<input type="checkbox"/> 単純 CT 検査(腹部以外)	食事・飲水制限なし
<input type="checkbox"/> 腹部を含む単純 CT 検査	検査 3 時間前から絶食
<input type="checkbox"/> 造影検査(部位にかかわらず)	水かお茶なら検査前まで飲水可能
☆検査の種類にかかわらず水分(水かお茶)は十分摂取してください。	

* 注意事項

- ・急患のため予定時間が変更になる場合があります。ご了承下さい。
- ・検査について不明な点や、検査を受けられなくなった場合などは紹介医療機関または下記までご連絡下さい。

県立二葉の里病院 地域連携室:(082)-262-1581 または 放射線科:(082)-262-1178 受付時間:平日 8:40～17:00

造影 CT 検査を受けられる方へ

1. 造影 CT 検査とは

造影 CT 検査とは、造影剤(ヨードを含む薬)を血管内に注射しながら行う CT 検査です。

造影剤を使用することにより、病変の存在や性状などがより詳しく描出され、あなたの病気の早期発見や診断、治療方針の決定などに大いに役立ちます。

2. 造影剤の副作用

検査に際しては、極力安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記のような副作用が起きることがあります。

- ・軽い副作用(頻度は1~3%以下)

吐き気、嘔吐、頭痛、めまい

じんましん、発疹、かゆみ、手足のむくみ、発熱、せき など

- ・重い副作用(頻度は約 2,500~25,000 人に 1 人)

まれに呼吸困難やショックなどの重篤なアレルギー症状を生じることがあります。

きわめてまれですが死亡例も報告されています。

- ・造影剤の血管外漏出

CTでは造影剤を自動注入器を用いて高圧で血管内に投与しますが、きわめてまれに造影剤が血管外に漏れることがあります。

3. 副作用に対する対応

検査中は放射線科のスタッフが常にあなたの状態を観察していますので、上記のような副作用を生じた場合は、直ちに最善の処置をいたします。検査終了後、数時間から数日後に何らかの異常が現れた場合には、診療時間内は下記放射線科まで、時間外、休日の場合は救急室にご連絡ください。

*** 下記に該当される方は造影剤が使用できない場合がありますので事前に主治医にお伝え下さい**

- ・過去にヨード造影剤に過敏症の既往歴のある方
- ・気管支喘息などのアレルギー歴のある方
- ・甲状腺機能亢進症のある方
- ・腎機能が低下している方
- ・ビグアナイド系の糖尿病薬を飲まれている方(原則、検査 2 日前から検査 2 日後までの休薬が必要)

連絡先: 県立二葉の里病院

放射線科 082-262-1178 (平日 8:30~17:15)

救急室 082-262-1450 (平日上記時間外または休日)